

## 女性学研究センター年次報告・2013年度

引用	女性学研究. 21, p.162-166
その他のタイトル	2013 Annual Report
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/14517">http://hdl.handle.net/10466/14517</a>

## 女性学研究センター年次報告・2013年度

### 1. 運営体制

- センター長 伊田久美子  
 副センター長 村田京子  
 専任研究員 (センター長・副センター長のほか)  
 浅井美智子、熊安貴美江、堀江珠喜  
 兼任研究員 青木賜鶴子、児島亜紀子、田間泰子、東優子  
 共同研究員 ケイン・ケビン、酒井隆史、福田珠己、宮脇幸生、  
 山中京子、上村隆広  
 学外研究員 足立真理子 (お茶の水女子大学)、木村涼子 (大阪大学)、  
 古久保さくら (大阪市立大学)、高岡尚子 (奈良女子大学)  
 事務職員 伊藤ゆきこ

### 2. 授業

- ・大学院科目 (人間社会学研究科)
  - 「ジェンダー特論1A」「同1B」(半期各2単位。伊田久美子)
  - 「同2A」「同2B」(半期各2単位。田間泰子)
- ・専門科目 (学部科目)
  - 「ジェンダーと社会」(半期2単位。田間泰子)
  - 「ジェンダーとスポーツ」(半期2単位。熊安貴美江)
  - 「ジェンダーと社会思想」(半期2単位。浅井美智子)
  - 「ジェンダーと教育」(半期2単位。土田陽子)
  - 「ジェンダー論演習A」「同B」(半期各2単位。伊田久美子・田間泰子)
- ・教養科目 (機構提供科目)
  - 「ジェンダー論への招待」(前期2単位。東優子・上村隆広・宮脇幸生・浅井美智子・熊安貴美江)
  - 「ジェンダーとヨーロッパ文化」(前期2単位。村田京子)
  - 「ジェンダーと日本文化」(後期2単位。青木賜鶴子)

### 3. 女性学講演会：女性学・ジェンダー研究の現在

(2013年11月16日～2014年2月1日)

第1回「ミステリー小説の美女いろいろ ——比較文学的に考える——」

講師：堀江珠喜（大阪府立大学教授・女性学研究センター）

第2回「生殖技術により生まれた子どもの出自を知る権利」

講師：才村眞理（帝塚山大学教授）

第3回「芸術、文学とジェンダー」

「テオフィル・ゴーチエと造形芸術 ——ゴーチエの「石の夢」——」

講師：村田京子

（大阪府立大学教授・女性学研究センター副センター長）

「テオフィル・ゴーチエと舞台芸術 ——ジゼルはどこに？——」

講師：澤田肇（上智大学教授）

第4回「“女性人権”の井戸を掘り続けて ——韓国女性ホットラインの活動がめざすところ——」

（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会と共催）

講師：朴仁恵

（前韓国女性ホットライン連合常任代表、韓神大校非常勤講師）

コメンテーター：山下英愛（立命館大学非常勤講師）

コーディネーター：伊田久美子

（大阪府立大学教授・女性学研究センター長）

第5回「スポーツにおける暴力／セクシュアル・ハラスメント

——見えにくいハラスメントの現状と課題——」

講師：熊安貴美江（大阪府立大学准教授・女性学研究センター）

### 4. 女性学研究コロキウム

第1回：「映画上映会&トーク」

（11月9日開催 於I-siteなんば 大阪府立大学人間社会学研究科院生有志との共催）

若者の間で深刻な問題となっているデートレイプについて、被害者に共感的に描いた映画をもとに、問題解決への多様なアプ

ローチについて映画製作者とともに議論を深めた。

講師：金井純一（株式会社SDP 映像事業部 ディレクター）

第2回：「ジェンダー視点からの財政影響評価に向けて」

（2014年2月2日開催 於I-siteなんば）

講師：松川誠一（東京学芸大学准教授、日本フェミニスト経済学会）

## 5. 国際交流事業

- 日中ワークショップ（アジア・太平洋人権情報センター、中国延辺大学女性研究センターとの共催 スタディツアー）

「日本と中国東北部の女性の現状をめぐるワークショップ」

（9月2日開催 於延辺大学女性研究センター（中国 吉林省））

報告者：

キム・ファソン（延辺大学女性研究センター長）

伊田久美子（大阪府立大学教授・女性学研究センター長）

リ・ファー（延辺大学女性研究センター研究員）

朴君愛（アジア・太平洋人権情報センター上席研究員）

- 朴仁恵氏講演会「“女性人権”の井戸を掘り続けて ——韓国女性ホットラインの活動がめざすところ——」（第4回女性学講演会と共通）

## 6. 男女共同参画事業

- 日中ワークショップ（国際交流事業と共通）
- シンポジウム「災害復興とジェンダー課題」  
（12月7日開催。於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。 科研基盤(B) 海外学術調査「復興・防災まちづくりとジェンダー」と共催。）

パネリスト：廣瀬弥生（元復興庁上席政策調査官）

山地久美子（大阪府立大学客員研究員）

井上摩耶子（ウイメンズカウンセリング京都代表）

討論者： 田間泰子（大阪府立大学教授）

福永真弓（大阪府立大学准教授）

コーディネーター：伊田久美子

（大阪府立大学教授、女性学研究センター長）

## 7. 図書・文献資料の収集

例年どおり、外国語文献資料ならびに新刊邦語文献を中心に収集した。  
諸雑誌の購読も継続している。

## 8. その他

- 講演会「同性愛者と人権 ——結婚と就労をめぐる、あんな話こんな話」  
(7月26日 於 I-siteなんば)  
主催：大阪府立大学東優子研究室  
後援：大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類、大阪府立大学地域福祉研究センター、大阪府立大学女性学研究センター、NPO法人虹色ダイバーシティ、関西性教育研修セミナー実行委員会  
講師：南和行（弁護士）、吉田昌史（弁護士）  
村木真紀（虹色ダイバーシティ代表）  
パトリック・J・リネハン（米国総領事）
- フォーラム「性暴力のない社会をつくろう」  
(11月14日 於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス)  
主催：堺市  
共催：大阪府立大学女性学研究センター  
企画・運営：堺市男女共同参画社会をめざす市民の会「さくら∞」  
後援：大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類  
講師：伊藤良子（大阪府立大学助教）
- フォーラム「災害と、女性・子どもへの支援 ——NPOから学ぶ——」  
(2014年3月16日 於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス)  
主催：大阪府立大学田間泰子研究室  
共催：堺市  
後援：大阪府立大学女性学研究センター  
講師：NPO法人 インクルいわて  
NPO法人 ウィズネイチャー  
NPO法人 きずなメール・プロジェクト

\* \* \*

新体制も3年目を迎え、ようやく軌道に乗ってきた感があります。引き続き女性学・ジェンダー研究の推進による男女共同参画社会の実現をめざす活動に、学内外の諸機関等と連携しながら取り組んでまいりました。

今年度の男女共同参画事業として12月に開催したシンポジウム「災害復興とジェンダー課題」は北九州や岡山からの参加者に加えて学内の関心も高く、意義深い議論を深めることができました。今後とも共同プロジェクトとして取り組みを進めて行けるよう検討していく所存です。

恒例のアジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）共催のワークショップは中国延辺大学女性研究センターで開催しました。本学人間社会学研究科博士前期課程の修了生である、プール学院大学講師の蔡春花さんの尽力で、有意義な交流を深めることができました。今後のさらなる交流の発展を模索したいと思います。

女性学講演会の第4回は、アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）、大阪府男女共同参画推進財団（ドーンセンター）、立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会との共催で、韓国の著名な女性運動家である朴仁恵（パク・イネ）さんの講演会を開催することができました。また今年度も堺市など自治体、本学研究団体等との連携共催事業に取り組みました。このような関連諸団体との連携を深めながら、学内外の女性学・ジェンダー教育研究のネットワーク拠点施設として、本センターの活動をさらに活性化させていきたいと考えています。

今後ともセンターの活動へのご注目をよろしく願いいたします。

（伊田久美子、村田京子）